



2022年9月8日

各 位

会社名 株式会社 C a s a
代表者名 代表取締役社長 宮地 正剛
(コード番号:7196 東証プライム市場)
問合せ先 取締役経営管理部長 高杉 雄介
(TEL.03-5339-1143)

2023年1月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ

2022年3月10日に公表しました2023年1月期第2四半期累計期間の連結業績予想と本日公表の同期実績に下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年1月期の第2四半期累計期間連結業績予想と実績値との差異
(2022年2月1日～2022年7月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|-----------------------------------|--------------|------------|------------|--------------------------|-----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 5,075 | 百万円 129 | 百万円 163 | 百万円 65 | 円 銭 6.56 |
| 実績値(B) | 5,101 | 325 | 388 | 99 | 10.01 |
| 増減額(B-A) | 26 | 196 | 225 | 34 | — |
| 増減率(%) | 0.5% | 152.6% | 138.6% | 53.4% | — |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (2021年1月期第2四半期) | 5,283 | 532 | 586 | 354 | 35.41 |

2. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、新規契約件数及び保有契約数がそれぞれ想定を上回り推移しておりますが、売上高は期間按分しているため、前回発表予想と同程度となりました。

利益面につきましては、債権回収の効率化を図ることで求償債権額が想定を下回り、貸倒引当金繰入額の圧縮ができております。また、販売費及び一般管理費の削減等もあるため、営業利益率が予算比3.8ポイントの改善となりました。なお、第2四半期連結会計期間において、減損損失112百万円を特別損失に計上しております。

これらの結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前回発表予想値を上回る結果となりました。

なお、現時点で通期の業績予想を据え置くことといたしましたが、今後の業績動向を踏まえ、業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに公表いたします。

以 上